

第 48 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20230604）レポート

【クラブ】（ あおぞらクラブ ）

【名 前】（ 花田幸奈 ）

① 午後に参加した講座のタイトルをお書きください。

（特別）講座（№ 11 ） （ 学童保育と性教育 ）

※全体講座のみに参加された方は、全体講座のタイトルをお書きください。№と選んだ理由は必要ありません。

②この講座を選んだ理由をお書きください。

保健の授業ぐらいでしか、性教育を受けた記憶がなく、この機会にきちんと学んでおきたいと思い受講しました。普段子どもたちが何気なく聞いてきたことが、大事な性に関する話だったという経験もあり、正しい知識で子どもたちに話ができるようにしておきたいと思い、今回このテーマを選択しました。

③本日の講座で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童保育の指導員になり2年目ですが、これまで子どもたちに性についての質問をされたときに「なんて答えてあげるのが適切なのだろうか？」「小学生が知っていて良い内容なのだろうか？」と迷い、「わからない」などと答えてしまうことが多かったように思います。そんな中、講師の先生の「子どもたちから性についての質問をされたときに、「わからない」などと言って逃げるのはなくきちんと説明して、教えてあげる」という言葉が印象に残りました。学年や発達に合わせて話す内容を考えることはもちろんですが、逃げたり戸惑うことなく、きちんと教えてあげることが大切だと思いました。

最後の質問の時間では、“子どもたちからのスキンシップをどこまで受け止めるべきかという質問がたくさんありました。私も同じように、悩む場面があります。“異性だから”とか、“高学年だから”というように、簡単には線引きできない難しさがあるように思います。だからといって、曖昧に断ったり、否定したり、叱るのではなく、時に子どもたちにきちんとダメな理由を大人がしっかりと伝えてあげることが大切だと思いました。

今回、性教育というテーマで午前、午後と受講しましたが、自分が知らないような性に対する知識や用語も多くあり、とても勉強になりました。また、性に対する違和感などで生きづらさを感じて自殺をはかってしまう人が増えていることや、ユネスコは5歳から性教育を推奨していること、時代に合わせて変わっていく性の捉え方など、まだまだ知っておくべき内容がたくさんあるように思いました。受講してよかったです。

※×切は、6/18（日）です。常勤専任指導員に手渡し、または okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。